

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v2.0)

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)シティガーデンBONJONO 14街区	BEE	1.6	BEEランク	A	★★★★
------	-------------------------	-----	-----	--------	---	------

## 2 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
1 循環型社会への貢献	3.1 /5		ふつう
2 地球温暖化対策の推進	4.1 /5		よい
3 豊かな自然環境の確保	2.0 /5		がんばろう
4 高齢社会への対応	3.0 /5		ふつう

※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
---	-------	----------------	-----------------	-------------------

## 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト:	CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1-2)
------------------	----------------------	----------------	----------------------------

1 循環型社会への貢献		スコア平均	3.1
リサイクルに関する配慮	長寿命化に関する配慮		
LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数	スコア	3
	Q2/ 3 対応性・更新性	スコア	3.3
リサイクル材の使用に努める	地下ピットの設置により設備の更新のやり易さを考慮。住戸内の小梁、躯体壁をなくし間仕切りの変更のやり易さを考慮。		
2 地球温暖化対策の推進		スコア平均	4.2
省エネ・省資源に関する配慮	節水に関する配慮		
LR3/ 1 地球温暖化への配慮	LR2/ 1.1 節水	スコア	4
燃料電池コージェネレーション設備の設置で省エネルギーに努める	給水箇所は節水型機器を使用		
3 豊かな自然環境の確保		スコア平均	2.0
生態系保全に関する配慮	緑化に関する配慮		
Q3/ 1 生物環境の保全と創出	Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2
	LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2
<自由記述>	季節を感じる緑化計画を施す		
4 高齢社会への対応		スコア平均	3.0
バリアフリーに関する配慮	主な指標		
Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	建物の外皮性能 (BPI評価)		
	非住宅:BPI値、住宅:省エネ等級		4
福岡県福祉のまちづくり条例 整備基準を満たす	建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価)		
	非住宅:BEI値、住宅: -		0.61
	外構緑化指数		17.96 %
	建物緑化指数		0 %

:入力欄

:CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シティガーデンBONJONO 14	階数	地上5F 地下1階
建設地	福岡県北九州市小倉北区城野団地	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	180 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2019年7月20日
敷地面積	4,318 m <sup>2</sup>	作成者	平野公基
建築面積	1,622 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,370 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	69%
③上記+②以外の	66%
④上記+	66%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.3
温熱環境	3.8
光・視環境	2.9
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	4.3
耐用性	2.6
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	2.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.3
地域環境	2.6
周辺環境	2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 建物の圧迫感を低減するため建物を分節化し、グレー系の外装の明暗のコントラストで周辺環境の美観に配慮している。コミュニティを重視した共用部や子供達が安心して遊べる中庭、外構には季節を感じる植栽計画を施し、地域の生活的ランドマークとなる施設を目指す。		<b>その他</b> 全住戸に燃料電池コジェネレーション設備を設置して大幅なCO <sub>2</sub> 削減を図る。
<b>Q1 室内環境</b> 温熱環境については全住戸省エネルギー対策等級4に対応する。光環境についてはリビングの窓が道路に面しサイズを大きくする事で昼光率を確保した。科学汚染物質対策のため内装材はF☆☆☆☆建材を使用する。	<b>Q2 サービス性能</b> インターネットに高速で接続できるように、住戸ごとにギガビット対応ハブを設置する。各階に掃除用具室、掃除用流しを設置して清掃業務の効率化を図る。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺の街並みに調和する意匠、色彩を設定している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外皮の性能は省エネルギー対策等級4に対応する。一次エネルギー消費については、建物全体でBEI 0.61。太陽光発電を共用部に供給する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 給水箇所には節水型機器を使用する。仕上げ材は一部リサイクル材を使用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 駐輪場は住戸数の1.5倍の台数を設置し交通負荷を軽減する。日照障害について日影規制の1ランク上の基準を満たす。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)シティガーデンBONJONO 14街区**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>					0.40		-		<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>				<b>4.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.3</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>5.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		T-2以上を採用		<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能					-	<b>3.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	<b>3.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	<b>3.0</b>	0.20		
1.3 吸音					-	<b>1.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.0</b>	0.35	<b>4.0</b>	1.00		<b>3.8</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	1.00		
1 室温				<b>3.0</b>	0.63	-	-		
2 外皮性能		省エネルギー対策等級4		<b>3.0</b>	0.38	<b>4.0</b>	1.00		
3 ゾーン別制御性					-		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	-	-		
2.3 空調方式				<b>1.0</b>	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>2.9</b>	1.00		<b>2.9</b>
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.30	<b>2.9</b>	0.50		
1 昼光率		リビングの昼光率を確保		<b>5.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.50		
2 方位別開口					-	<b>1.0</b>	0.30		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20		
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50		
1 昼光制御				<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	-	-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.8</b>	0.25	<b>4.2</b>	1.00		<b>4.2</b>
4.1 発生源対策				<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆		<b>5.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	1.00		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能					-	<b>3.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
4.3 運用管理					-		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視					-		-		
2 喫煙の制御					-		-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-		<b>3.5</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.9</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00		<b>4.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応		Gbit対応ハブ設置			-	<b>5.0</b>	1.00		
3 バリアフリー計画		福岡県福祉のまちづくり条例 整備基準を満たす		<b>3.0</b>	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				<b>5.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40		
1 広さ感・景観					-	<b>3.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画		評価する取組みに準ずる設計をする		<b>5.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	0.50		
1.3 維持管理				<b>4.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		内外装において維持管理がし易い配慮をする		<b>4.0</b>	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		各階に清掃用具室、流しを設置		<b>4.0</b>	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.6</b>	0.30	-	-		<b>2.6</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>1.4</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				<b>1.0</b>	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				<b>2.0</b>	0.20		-		
3 電気設備				<b>1.0</b>	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				<b>1.0</b>	0.20		-		
5 通信・情報設備				<b>2.0</b>	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.4</b>	1.00	<b>3.3</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>3.8</b>	0.50	
1	階高のゆとり	1階:3.22m 2-4階:3.02m 5階:3.07m	-	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		周辺の街並みに調和する意匠、色彩を設定	<b>4.0</b>	0.40	-	-	<b>4.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		省エネルギー対策等級4	<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.61	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
集合住宅の評価			<b>3.5</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	各住戸にHEMS設置	4.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水型便器	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	<b>3.0</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		共用廊下床:東リNS800 インターロッキング:太平洋フロン工業グラシパムロー	4.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>2.3</b>	0.20	-	-	<b>2.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>2.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	1.00	-	-	
3	冷媒		-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		燃料電池コジェネレーション設備の設置によるCO2削減	<b>4.3</b>	0.33	-	-	<b>4.3</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.6</b>	0.33	-	-	<b>2.6</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	住戸数以上の駐輪台数、駐車台数を確保	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>2.8</b>	0.33	-	-	<b>2.8</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>1.9</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制	日影規制に対して1ランク上の基準を満たす	4.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドライン フェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	